

工 事 成 績 評 定 要 領

（目的）

第1 この要領は、愛媛県工事検査規程（平成11年3月愛媛県告示第465号。以下「検査規程」という。）第16条の規定に基づき、工事の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、公共工事の品質の確保等を図るため厳正かつ的確な評定を実施し、もって請負業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

（評定の対象）

第2 評定は、1件の請負代金額が500万円以上の請負工事について行うものとする。

（評定の内容）

第3 評定は、工事の施工状況、目的物の品質等を評価するものとする。

（評定者）

第4 工事成績の評定者（以下「評定者」という。）は、検査規程第4条の規定により検査を命じられた検査員並びに当該工事を担当する課長または課長補佐相当職（以下「担当課長」という。）、係長相当職及び監督員（以下「担当係長（監督員）」という。）とする。

（評定の方法）

第5 評定は、監督または検査により確認した事項に基づき、工事ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

2 工事成績の採点は、別記様式第1「工事成績採点表」（以下「採点表」という。）により行うものとする。

3 細目別評定点の算出は別記様式第2によるものとする。

4 評定結果は別記様式第3「工事成績評定表」（以下「評定表」という。）に記録するものとする。

5 評定にあたっては、別紙4の「記入方法及び留意事項」を考慮するものとする。また、工事における「高度技術」、「創意工夫」、「社会性等」に関しては、請負者は当該工事における実施状況を提出できるものとし、提出があった場合はこれも考慮するものとする。

（評定の時期）

第6 検査員である評定者は検査実施のつど、担当課長、担当係長（監督員）である評定者は工事完成のとき、それぞれ評定を行うものとする。

（評定表等の提出）

第7 監督員は、検査が実施されるまでに検査員を除く評定を取りまとめのうえ検査員に提出するものとし、検査員は、この評定に自己の評定を加えて評定点の合計を算出するものとする。

2 検査員は、評定を定めたときは、評定表及び採点表を工事検査復命書及び工事検査済通知書（検査規程第11条第2項関係）に付するものとする。

(評定結果の通知)

第 8 部長又は地方局長は、評定者から評定表等の提出があったときは、速やかに、当該工事の請負者に対して、別添「工事成績評定通知実施要領」により通知するものとする。

(評定の修正等)

第 9 部長又は地方局長は、第 8 の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、修正しなければならない。

2 部長又は地方局長は、前項の修正を行ったときは、速やかに、その結果を当該工事の請負者に通知するものとする。

(説明請求等)

第 10 第 8 又は第 9 の通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して 14 日（「休日」を含む。）以内に、書面により、通知を行った部長又は地方局長に対して評定の内容について説明を求めることができる。

2 部長又は地方局長は、前項による説明を求められたときは、書面により回答するものとする。

(再説明請求等)

第 11 第 10 第 2 項の回答を受理した者で当該回答に不服がある者は、回答を受けた日から起算して 14 日（「休日」を含む。）以内に、書面により、部長又は地方局長に対して再説明を求めることができる。

2 部長又は地方局長は、前項による再説明を求められたときは、工事成績評定審査委員会の審議を経て書面により回答するものとする。

3 前項の工事成績評定審査委員会は、別に定める内規に基づき設置するものとする。

(評定結果の公表)

第 12 評定結果は、別添「工事成績評定通知実施要領」により速やかに公表するものとする。

附 則

- 1 この要領は、平成 16 年 4 月 1 日から施行し、同日以後検査する工事から適用する。
- 2 工事成績評定要領（平成 11 年 3 月 26 日付け土第 412 号）は廃止する。

別記様式第 1

工事成績採点表 (完成、既成部分、中間)

所属年度		工事番号					完成年月日					事務所名										
							平成 年 月 日					平成 年 月 日										
工事名		検査年月日					請負代金額					円										
請負者名		工期					平成 年 月 日から					平成 年 月 日まで										
考 査 項 目		担当係長 (監督員) 2					担当課長					検 査 員 (既成・中間)					検 査 員 (完成)					
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	
1.施工体制	.施工体制一般		+1.5	0	-5.0	-10																
	.配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																
2.施工状況	.施工管理		+1.5	0	-5.0	-10						+5	+2.5	0	-5.0	-15	+5	+2.5	0	-5.0	-15	
	.工程管理	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	+10	+5	0	-7.5	-15											
	.安全対策	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10	+15	+7.5	0	-7.5	-15											
	.対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																
3.出来形及び出来ばえ	.出来形	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5						10	+5.0	0	-10	-20	10	+5.0	0	-10	-20	
	.品 質	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5						15	+7.5	0	-15	-25	15	+7.5	0	-15	-25	
	.出来ばえ											5	+2.5	0	-5		5	+2.5	0	-5		
4.高度技術	.高度技術力 3	+(13)		0																		
5.創意工夫	.創意工夫 3	+(7)		0																		
6.社会性等	.地域への貢献等 4						+10	+5	0													
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		± . 点					± . 点					± . 点					± . 点					
評価点 (65±加減点合計)		. 点					. 点					. 点					. 点					
7.評定点計		既成部分 (中間) 検査があった場合 (. 点 × 0.4 + . 点 × 0.2 + . 点 × 0.2 + . 点 × 0.2) = . 点 ただし、(既成、中間) が 2 回以上の場合 は 平均値 既成部分 (中間) 検査がなかった場合 (. 点 × 0.4 + . 点 × 0.2 + . 点 × 0.4 = . 点																				
8.法令遵守等 4							- 点															
9.評定点合計 1		. 点					7.評定点計 (. 点) - 8.法令遵守等 (. 点) = . 点															

- 1, 2, 3 の評定 (65 点 ± 加減点合計) + 4, 5, 6 の評定 (加減点合計) - 8 の評定 (減点) = 評定点。 各評価点 (~) は小数第 1 位まで記入する。 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- 担当係長 (監督員) 欄は、当該工事を担当する係長相当職の技術吏員と監督員の総意により、評定点を記載する。
- 高度技術及び創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評定内容の記述方法とし、加点評価のみとする。
- 社会性等の評価では地域への観点から、加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
- 各考查項目ごとの採点は、担当係長(監督員)は別紙 - 1、担当課長は別紙 - 2、検査員は別紙 - 3 によるものとし、検査員の評価に先立ち担当係長(監督員)、担当課長が記入する。

細目別評定点採点表

項目	細別	担当係長(監督員)	担当課長	検査員(既成・中間)	検査員(完成)	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	. 施工体制一般	() × 0.4 + 2.6 = 点				3.2点	
	. 配置技術者	() × 0.4 + 2.6 = 点				3.8点	
2. 施工状況	. 施工管理	() × 0.4 + 2.6 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	11.7点	
	. 工程管理	() × 0.4 + 2.6 = 点	() × 0.2 + 4.3 = 点			9.3点	
	. 安全対策	() × 0.4 + 2.6 = 点	() × 0.2 + 4.3 = 点			10.7点	
	. 対外関係	() × 0.4 + 2.6 = 点				3.4点	
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来形	() × 0.4 + 2.6 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	13.9点	
	. 品質	() × 0.4 + 2.6 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	15.9点	
	. 出来ばえ			() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	8.5点	
4. 高度技術	. 高度技術力	() × 0.4 + 2.6 = 点				7.8点	
5. 創意工夫	. 創意工夫	() × 0.4 + 2.6 = 点				5.4点	
6. 社会性等	. 地域への貢献等		() × 0.2 + 4.4 = 点			6.4点	
7. 法令遵守等			() × 1.0 = 点				
評定点合計						100点	

既成部分(中間)検査があった場合 (+ + × 0.5 + × 0.5) = 細目別評定点 (既成、中間が2回以上の場合は を平均する)
 既成部分(中間)検査がなかった場合 (+ +) = 細目別評定点

得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

工事成績評定表（完成、既成部分、中間）

平成 年 月 日

事務所名：

工 事 名			
契 約 金 額	当初：	最終：	
工 期	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日
完 成 年 月 日	平成 年 月 日		
完 成 検 査 年 月 日	平成 年 月 日		
既 成 部 分 検 査 年 月 日	第1回：平成 年 月 日	第2回：平成 年 月 日	
中 間 検 査 年 月 日	第1回：平成 年 月 日	第2回：平成 年 月 日	第3回：平成 年 月 日
請 負 者 氏 名			
現 場 代 理 人 氏 名			
主 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名			
担 当 係 長 (監 督 員) 所 属 ・ 氏 名			印
担 当 課 長 所 属 ・ 氏 名			印
完 成 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
第 1 回 既 成 部 分 、 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
第 2 回 既 成 部 分 、 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
第 1 回 中 間 検 査 、 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
第 2 回 中 間 検 査 、 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
第 3 回 中 間 検 査 、 検 査 員 所 属 ・ 氏 名			印
担 当 係 長 (監 督 員) 評 定 点			点
担 当 課 長 評 定 点			点
既 済 部 分 、 中 間 検 査 員 評 定 点			点
完 成 検 査 員 評 定 点			点
法 令 遵 守 等	-		点
評 定 点 合 計			点

注1) 既済部分、中間検査があった場合

$$\text{評定点合計} = (\quad \times 0.4 + \quad \times 0.2 + \quad \times 0.2 + \quad \times 0.2) -$$

既済部分、中間検査がなかった場合

$$\text{評定点合計} = (\quad \times 0.4 + \quad \times 0.2 + \quad \times 0.4) -$$

2) 既済部分、中間検査が2回以上あった場合、評定点は既済部分、中間検査を合わせた平均点を記入する。

3) 担当係長(監督員)、担当課長、検査員の評定点は小数第1位までとする。

4) 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

5) 法令遵守等は、担当課長が記入する。

6) 既成部分検査、中間検査の検査員の職氏名欄については、当該検査員以外は押印不要。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の にレマークを記入する。

担当係長(監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	施工体制一般 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>		施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が施工体制台帳、施工体系図及び施工計画書で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で、受注時、登録内容の変更時、完成時にはそれぞれ10日以内に、訂正時には速やかに行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明では品質証明員が確認でき、品質証明の時期・確認項目が、工事全般にわたりよく把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済組合に加入し、証紙の購入・配布が適切に行われていることが共済証紙受払簿等により適切に把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、船舶、機械配置の施工となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____)</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> % </p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>当該項目が 80% 以上 b</p> <p>当該項目が 60% 以上 80% 未満 c</p> <p>当該項目が 60% 未満 d</p> <p>当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。</p> </div>						
		<p><input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり 監督員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・e</p>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

担当係長(監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
2.施工状況	安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった	
	<input type="checkbox"/>	<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 災害防止 (工事安全 協議会等を設置し、定期的に活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを定期的を実施し、記録が整備されている。(労働安全衛生法により店社安全衛生管理者の選任が義務付けられている工事のみ適用) <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けなかった。または、指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全教育 訓練等を4時間/月以上適時、的確に実施し、記録が整備され、かつ創意工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 安全パトロール、TBM(ツールボックスミーティング)、KY(危険予知活動)等を実施し記録を整備している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用い実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の整備 設置 管理が的確であり よく整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 :) <input type="checkbox"/> 事故 (理由 :)				<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた 上記該当あれば・・・ e <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。 上記該当あれば・・・ d	
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %					
		該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上 90%未満 b 該当項目が 60%以上 80%未満 c 該当項目が 60%未満 d				当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

担当係長(監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	対外関係 <input type="checkbox"/>	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり 地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 苦情に対する的確に対応し、良好な対外関係であった。 <input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった、また苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			<input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 上記該当あれば・・・ e <input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い、また対応が悪くトラブルがあった。 <input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督員から文書により指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	
		該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上 90%未満 b 該当項目が 60%以上 80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = (評価数 / ()) × 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。	
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

担当係長(監督員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値 50% 以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の 80% 以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		出来高の評定は、工事全般を通したものとする。 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d
	機械設備工事・電気設備工事	出来形管理が適切である [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来高形理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真もしくは出来形図で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となり満足している。 <input type="checkbox"/> その他理由：	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	
上記欄によらず、当該欄で評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 該当項目が 90% 以上 a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 c 該当項目が 60% 未満 d </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = (評価数 / () 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は「評価」とする。 </div>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

担当係長(監督員)

考 査 項 目	細 別		a	b	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/>	建築工事 (新築) (改築) 暖冷房・衛生設備 工事 上記欄 によらず、 当該欄で 評価	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である		
			[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来高形表が適切にまとめられており 確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値 (設計図書) を満足し、バラツキが少ない。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値 (設計図書) を満足し、バラツキが少ない。 <input type="checkbox"/> その他理由： _____)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e	
			該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上 90%未満 b 該当項目が 60%以上 80%未満 c 該当項目が 60%未満 d		当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = (評価数 / () 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

担当係長 (監督員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	品質 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが規格値の50%以内である。ばらつきの判断は別紙参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが規格値の80%以内である。ばらつきの判断は別紙参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがありばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		品質の評定は、工事全般を通したものとす。 品質とは、設計図書に示された工事的物の規格である。 品質管理とは、「土木工事の施工管理基準及び規格値」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条 2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	機械設備工事 上記欄によらず、当該欄で評価 <input type="checkbox"/>	a	b	c	d	e	
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がコレシート等 (現物照合を含む) で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		$\frac{\text{ }}{\text{ }} = \text{ } \%$					
		該当項目が 90% 以上 a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 .. b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 .. c 該当項目が 60% 未満 d		当該 評定対象項目 のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = (評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目が 2項目以下の場合は 評価とする。			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

担当係長 (監督員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	建築工事 (新築) 上記欄に よらず、当該 欄で評価 <input type="checkbox"/>	[評価対象項目] (躯体工事) <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 (仕上げ工事) <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>	<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e		
		該当項目が 90% 以上 …………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 …… b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 …… c 該当項目が 60% 未満 …………… d		当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で 評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

担当係長 (監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	建築工事 (改修) 上記欄によらず、当該欄で評価 <input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質・形状が適切で良好な施工である。 <div style="text-align: right;"> $\frac{\text{ }}{\text{ }} = \text{ } \%$ </div> 該当項目が 90% 以上 a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 .. b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 .. c 該当項目が 60% 未満 d <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; font-size: small;"> 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は 0 評価とする。 </div>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	電気設備工事	[評価対象項目] (機材) <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 (施工) <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <div style="text-align: right;"> $\frac{\text{ }}{\text{ }} = \text{ } \%$ </div> 該当項目が 90% 以上 a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 .. b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 .. c 該当項目が 60% 未満 d <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; font-size: small;"> 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は 0 評価とする。 </div>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

担当係長 (監督員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ	品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	暖冷房衛生設備工事 上記欄によらず、当該欄で評価 <input style="width: 20px; height: 20px; margin-top: 10px;" type="checkbox"/>	評価対象項目] (機材) <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 (施工) <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> % </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; font-size: small;"> 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。 </div>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	
		該当項目が 90%以上 …………… a 該当項目が 80%以上 90%未満 …… b 該当項目が 60%以上 80%未満 …… c 該当項目が 60%未満 …………… d				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

記入方法 1 該当する項目の にレマーク ・に を記入する。

担当係長(監督員)

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例																												
4.高度技術	キーワード評価	施工規模の大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2. その他理由()	【事例】施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 <table border="1"> <tr> <td>・切土・盛土工 15万m³ < V</td> <td>・護岸、築堤高 10m < H</td> <td>・トンネル(φ=ノド) 10m <</td> <td>・ダム用水門 <設計水深25m</td> </tr> <tr> <td>・樋門、樋管 15m² < A</td> <td>・揚排水機場 2000mm <</td> <td>・堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上/又は50m²/門</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・トンネル(開削工法) 20m < H</td> <td>・トンネル(NATM) 内空断面積 85m² < A</td> <td>・トンネル(沈埋工法) 300m² < A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防波堤、岸壁、海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m < H</td> <td>・地滑り防止工 100m < W 又は 150m < L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浚渫工 100万m³ < V</td> <td>・流路工 500m³ < Q</td> <td>・砂防ダム 30m < H</td> <td>・ダム高 150m < H</td> </tr> <tr> <td>・転流トンネル 400m³/s < Q</td> <td>・橋梁下部工 高さ30m < H</td> <td>・橋梁上部工 最大支間長 100m < L</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・延べ面積10,000㎡以上の建物</td> <td>・地上 9階以上の建物</td> <td>・地下 2階以上の建物</td> <td></td> </tr> </table>	・切土・盛土工 15万m ³ < V	・護岸、築堤高 10m < H	・トンネル(φ=ノド) 10m <	・ダム用水門 <設計水深25m	・樋門、樋管 15m ² < A	・揚排水機場 2000mm <	・堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上/又は50m ² /門		・トンネル(開削工法) 20m < H	・トンネル(NATM) 内空断面積 85m ² < A	・トンネル(沈埋工法) 300m ² < A		・防波堤、岸壁、海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m < H	・地滑り防止工 100m < W 又は 150m < L			・浚渫工 100万m ³ < V	・流路工 500m ³ < Q	・砂防ダム 30m < H	・ダム高 150m < H	・転流トンネル 400m ³ /s < Q	・橋梁下部工 高さ30m < H	・橋梁上部工 最大支間長 100m < L		・延べ面積10,000㎡以上の建物	・地上 9階以上の建物	・地下 2階以上の建物	
		・切土・盛土工 15万m ³ < V	・護岸、築堤高 10m < H	・トンネル(φ=ノド) 10m <	・ダム用水門 <設計水深25m																										
		・樋門、樋管 15m ² < A	・揚排水機場 2000mm <	・堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上/又は50m ² /門																											
		・トンネル(開削工法) 20m < H	・トンネル(NATM) 内空断面積 85m ² < A	・トンネル(沈埋工法) 300m ² < A																											
・防波堤、岸壁、海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m < H	・地滑り防止工 100m < W 又は 150m < L																														
・浚渫工 100万m ³ < V	・流路工 500m ³ < Q	・砂防ダム 30m < H	・ダム高 150m < H																												
・転流トンネル 400m ³ /s < Q	・橋梁下部工 高さ30m < H	・橋梁上部工 最大支間長 100m < L																													
・延べ面積10,000㎡以上の建物	・地上 9階以上の建物	・地下 2階以上の建物																													
構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む) <input type="checkbox"/> 4. 対象構造物の耐震レベル(建築) <input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 6. その他理由()	【事例】構造物固有な施工難度と対応工法等】 <ul style="list-style-type: none"> ・地山強度が低い、また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 ・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 ・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等。 ・施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 ・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 ・その他、コンピューター・シミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等。 ・特殊な設備システムを採用した工事。 ・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 ・構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 ・浚渫土砂の長距離土捨て、大型ケーソン等の長距離回航、大型作業船を駆使する工事。 ・沈埋トンネルの製作 築造で高度な技術を要する工事。特殊ケーソンの製作工事。 ・大空間のホール等を有する建物。 ・研究所等、特殊設備・機能の有る建物。 ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において Ⅰ類及びA類に属する工事。 ・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事。 ・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事。 ・耐震及び免震構造の工事。 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事。 ・仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事。 ・休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事。 ・その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 																														
技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 7. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 8. 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 9. その他理由()	【事例】自然及び地盤条件への対応工事等】 <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 ・港湾、海岸、海上及び河川内のため、波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潮流が早い又は潮位差が大きい海域のため、施工工程及び作業時間の制約や刻々と変化する状況を克服する技術を要する工事。 ・波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。 ・国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 																														
厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 10. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 12. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 14. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 15. その他理由()																															

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

記入方法 1 該当する項目の にレマーク ・に を記入する。

担当係長(監督員)

審査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4.高度技術	キーワード評価	<input type="checkbox"/> 厳し 周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 16. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 17. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線 供用中の道路 架空線 建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 18. 周辺住民等に対する騒音 振動等の配慮 <input type="checkbox"/> 19. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 20. 生活道路を利用した資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下 高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 21. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 22. 騒音 振動 水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 23. 工事区域、周辺の航行船舶への配慮 <input type="checkbox"/> 24. その他 理由 ()	【事例 周辺環境や社会条件等の施行現場での対応が必要になった工事等】 ・横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管 水道管 電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 ・鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 ・供用中の道路 (概ね日交通量 1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 ・供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 ・支障物件の移設が工程上クレーンバスになり 工程の遅れを生じ 回復に機械、人員等の増強を行った工事。 ・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置 撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。 ・工事の実施にあたり 各種の制約があり 工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 ・工事に先立ち又は施工中で、監視 観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 ・一般船舶の航行が多く、工事実施にあたり 関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事。 ・施工区域、施工ヤードが狭く、高さ制限もあり 施工及び船舶、機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 ・大気圧を越える気圧下の作業室での工事。 ・酸欠、有毒 可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上 水面から10m以上 (10m以下)での工事。 ・工程上、他工事の制約を受け、船舶、機械、人員の増強を行った工事。 ・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事。 ・特に困難な調整を要する他工事 (近接区)の請負者が複数ある工事。 ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者 通行人等の動線がある工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり 特に評価すべき技術があると評価された工事。
		施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 25. 災害等での臨機の措置 <input type="checkbox"/> 26. 施工状況 (条件)の変化に対応した施工 工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 27. その他 理由 ()	
	その他 <input type="checkbox"/> 28. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 理由 ()	【その他】 ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。	
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点 : 点 高度な技術力は、加点評価とする。 加点は +13点 - 0点の範囲とする。 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目 2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。	高度技術の詳細評価】

1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要がある技術の評価するものである。なお、「5.創意工夫」との二重評価はしない。
2. 詳細評価の記述にあたっては、(主席)工事検査専門員及び担当課長との合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。
3. 高度技術は「実用新案 特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5.創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(担当課長)

記入方法 該当する項目の にレマークに記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	.工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保することにより地域の主要行事に配慮するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				
		工程管理がやや不備 ……d 不備 ……e とし、これ以外の場合は該当項目数で評価する。 該当項目数 4以上 …… a 該当項目数 1以上 4未満 …… b 該当項目なし …… c				
	.安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発である。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが顕著である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）				
		安全対策がやや不備 ……d 不備 ……e とし、これ以外の場合は該当項目数で評価する。 該当項目数 5以上 …… a 該当項目数 1以上 5未満 …… b 該当項目なし …… c				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

記入方法 該当する項目の にレマークを記入する。

(担当課長)

考査項目	細別	a	b	c
6.社会性等	.地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がやや優れている	他の事項に該当しない場合
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 河川、港湾、海岸等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動植物への保護等を具体的に対策した。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に応報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路、港湾、海岸、河川清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> 県産品使用率が100%であった。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)		
		該当項目数 5以上 a 該当項目数 1以上 5未満 b 該当項目なし c		

1.地域への貢献等とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

記入方法]該当する項目の にレマークを記入する。

(担当課長)

考 査 項 目	法令遵守等の該当項目一覧表																			
8.法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措 置 内 容</th> <th style="width: 20%;">点 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">- 20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合 (不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 8. 総合評価履行確認 (任意点数)</td> <td style="text-align: center;">点</td> </tr> </tbody> </table>	措 置 内 容	点 数	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上	- 20点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満	- 15点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満	- 13点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満	- 10点	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合 (不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3点	<input type="checkbox"/> 8. 総合評価履行確認 (任意点数)	点	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <input type="checkbox"/> 項目該当なし </div> <p style="margin-top: 20px;">当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。(他工事現場での違反は評価しない。) 竣工検査当日までの処分内容で評価する。</p>
措 置 内 容	点 数																			
<input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上	- 20点																			
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満	- 15点																			
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満	- 13点																			
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満	- 10点																			
<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点																			
<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点																			
<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合 (不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3点																			
<input type="checkbox"/> 8. 総合評価履行確認 (任意点数)	点																			
<p>本評価項目 (8.法令遵守等) で評価する事例は、「工事の施工にあたり 工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容 (工事名、工期、施工場所等) を履行することに限定する。 「工事関係者」とは、を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・ 3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・ 6. 建設業法に違反する事実が判明した (EX)一括下請け、技術者の専任違反等 ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 ・ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9. 契約約款、仕様書等に違反する事実が判明した (EX)現場内事故報告義務違反等 ・ 10. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 11. 下請代金遅延防止法第 4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・ 12. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・ 13. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織 (団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 14. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第 9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 15. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・ 16. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 ・ 17. 総合評価落札方式施工計画型による入札において提出した施工計画の記載内容どおりの履行がなされていなかった。 ・ 18. その他 (理由:) 																				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

記入方法 該当する項目の にレマークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
	<input style="width: 30px; height: 30px;" type="checkbox"/>	<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、有効に機能している。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済の証紙が適切に購入 配布され標識が工事現場の見やすい場所に掲示されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 <input type="checkbox"/> 契約約款第 18 条第 1 項第 1 号から 5 号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい。 <input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整理に工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> リサイクルへの取り組みが適切になされている。 <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) 				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり 文書により 修補指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。 <p style="text-align: center;">1項目でも該当あれば・・・ c 2項目以上該当 …………… e</p>	
		<p style="text-align: center;"> <input style="width: 40px;" type="text"/> / <input style="width: 40px;" type="text"/> = <input style="width: 40px;" type="text"/> % </p>		<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = (評価数 / () 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</p>			
		<p>該当項目が 90% 以上 …………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満 …………… b 該当項目が 60% 以上 80% 未満 …………… c 該当項目が 60% 未満 …………… d</p>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真での確に判断出来る。 <input type="checkbox"/> 写真管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。				
		a	b	c	d	e
機械設備工事・電気設備工事	上記欄によらず、当該欄で評価	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真での確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となり満足している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上 90%未満 b 該当項目が 60%以上 80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = (評価数 / (対象評価項目数)) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、0%とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	コンクリート構造物工事 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格 (強度 w/c 最大骨材粒径、塩基総量等) が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時間の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がヨレシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保している。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80% 以上 a ばらつきが少なく、該当項目が 60% 以上 80% 未満 b ばらつきが少なく、該当項目が 60% 未満 c <div style="text-align: center;"> / = % </div>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 別紙 - 4を参照 上記該当あれば・・・ c				当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合、C 評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事) <input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等の処理が適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> CBR試験等を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17条 2項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ e</p>
		<p style="text-align: center;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上 ……a ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上 80%未満 ……b ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満 ……c</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> % </div>	
		<p style="font-size: small;">当該 評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目が 2項目以下の場合には C 評価とする。</p>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	護岸 根固 水制工事 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>〔評価対象項目〕</p> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理 強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが適切である。 試験結果の打点数等が少なればらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上 ……………a ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上 80%未満 ……b ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満 ……………c <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17条 2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば …… e
		<input type="checkbox"/> コンクリートブロック張等にクラックがある場合、進行性又は有害なクラックはなく、発生したクラックには適切な処置を行っている。別紙 - 4を参照。 上記該当あれば ……c				当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] (工場製作関係) <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がコレシート等 (現物照合を含む) で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり 作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第 1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 (架設関係) <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 6項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 5項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以下 …… c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(仰止杭・集水井戸工事を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>評価対象項目] (共通)</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの種類、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋または鋼材の規格がコレシートで確認できる。 (砂防構造物工事に適用) <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 (地すべり対策工事(仰止杭・集水井戸工事を含む)に適用) <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 集排水ホーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価す ばらつきが少なく、該当項目が80%以上 ……a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満 ……b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満 ……c <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	舗装工事 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>評価対象項目] (路床・路盤工関係)</p> <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR値を測定する等、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床、路盤工のブルフローリングを行っている。 (アスファルト舗装工関係) <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗設時等で整理記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業 (締め固め等) の配慮が行われている。 (コンクリート舗装工関係) <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格 (強度・w/c 最大骨材粒径・塩基総量等) が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> チェア - 、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 6 項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 5 項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 4 項目以下 …… c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、C 評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	法面工事 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-left: 20px;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] (共通) <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 (種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係) <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 吹付厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 (コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 (現場打法砕工関係) <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が4項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が3項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が2項目以下 …… c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	コンクリート橋工事 (PC及びRCを対象) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格 (強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等) が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がリストで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張り強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スパワーの材質が適正で品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパワーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保している。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のフレクション管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 装置 (機器) のキャリブレーションが実施されている。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> プレストッキング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が80%以上a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。		
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、有害又は進行性のクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。別紙 - 4を参照 上記該当あれば c					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	塗装工事 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		<input type="checkbox"/> ケンが入念に実施されていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理 記録されている。					
		<input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。					
		<input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。					
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 5 項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 4 項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 3 項目以下 …… c					
						当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、C 評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	植栽工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験 (PH) を実施し施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないようまた均一に施肥されている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 5項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 4項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以下 …… c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該 評価対象項目 のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は、C評価とする。	
	防護柵 (網) 標識 区画線等設置工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> ハイタイプ (常温式) 区画線に使用するシナーの使用量が 10%程度以下である。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 2項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 1項目以下 …… c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば …… d
					当該 評価対象項目 のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ 品質	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が3項目以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が2項目・・・b ばらつきが少なく、該当項目が1項目以下・・・c 主たる工種の考査事項で考査し、最大考査項目は4項目とする。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ 品質	電気通信工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがありばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 単体品(材料・部品組立後)の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。ただし、JIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。 <input type="checkbox"/> 設備の機能が設計図書等との適正を確認でき、その機能の証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)がよく、所定の能力を満足している。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が5項目以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が4項目……………b ばらつきが少なく、該当項目が3項目以下……………c				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ 品質	建築工事 (新築) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>評価対象項目) (躯体工事)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p>(仕上げ工事)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が 90% 以上a 該当項目が 80% 以上 90% 未満b 該当項目が 60% 以上 80% 未満c 該当項目が 60% 未満d</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <input style="width: 40px;" type="text"/> / <input style="width: 40px;" type="text"/> = <input style="width: 40px;" type="text"/> % </p>				<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>
					<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。</p> <p>評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ 品質	建築工事(改修) <input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>〔評価対象項目〕</p> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質 形状が適切で良好な施工である。 <p>評価対象項目の合計の％ 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> % </div>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば… d
					当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	電気設備工事(建築) 暖冷房衛生設備工事 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>	品質管理が適切である。	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>評価対象項目] (機材)</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p>(施工)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p>該当項目が 90% 以上a 該当項目が 80% 以上 90% 未満b 該当項目が 60% 以上 80% 未満c 該当項目が 60% 未満d</p> <p style="text-align: center;"> <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> % </p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第 17条 2項に基づき破壊検査を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ e</p>
					<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。</p> <p>評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数。</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は、C評価とする。</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	港湾築造工事(浚渫工事・海岸築造工事を含む) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがありばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		[評価対象項目] (共通) <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないように十分検討して施工されている。 (浚渫・床掘関係) <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工している。 <input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。 (地盤改良関係) <input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛り上がり土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 (マット・捨石及び均し関係) <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込めがタイロッド、タイワイヤーその他埋設構造物又は既設構造物の破損がなく施工され、記録により確認できる。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

		<p>(本体 杭及び矢板、控工関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鋼材の規格 数量がヨレシート等 (現物照合を含む) で確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたって規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。 <input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <p>(本体 ケーソン据付、ブロック据付関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象 海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付等に先立ち、気象 海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 <input type="checkbox"/> ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている。 <p>(コンクリート関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており 適切なコンクリートの規格 (強度 w/c 最大骨材粒径 塩基総量等) が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ 空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている (寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理している。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80% 以上 a ばらつきが少なく、該当項目が 60% 以上 80% 未満 b ばらつきが少なく、該当項目が 60% 未満 c</p> <p style="text-align: right;"> <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 15px;" type="text"/> % </p>		<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = (評価数 / () 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合、0 と評価する。</p>
--	--	---	--	---

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	ほ場整備工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b) に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		[評価対象項目] (整地工) <input type="checkbox"/> 基盤切盛が適切に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 表土厚さが充分確保され、かつ均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔及び盛土部が充分に締め固められている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラック損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 石礫や雑物が適切に処理されている。 (道路工) <input type="checkbox"/> 盛土の締め固めが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 敷砂利等が均等で平坦性が良好である。 (水路工) <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の接合が適正である。 <input type="checkbox"/> 付帯構造物の施工が良好である。 (暗渠排水工) <input type="checkbox"/> 吸水管等の設置が良好であり、且つ適正な水路勾配を有している。 <input type="checkbox"/> 被覆材が仕様書に定めた品質を有し、雑物等の混入がない。 <input type="checkbox"/> 表土戻しが適切に施工され、周辺との段差がない。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80% 以上 a ばらつきが少なく、該当項目が 60% 以上 80% 未満 b ばらつきが少なく、該当項目が 60% 未満 c				$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$	
		当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、d 評価とする。					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ 品質	管水路工事 (バイブライン) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊、過堀が無く、施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 管及び付属品 (制水弁、空気弁等) の接合が適正である。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により、締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に施工され、周辺との段差がない。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>	<input type="checkbox"/> 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ e</p>
		<p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80% 以上 a ばらつきが少なく、該当項目が 60% 以上 80% 未満 b ばらつきが少なく、該当項目が 60% 未満 c</p>				<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> %	
		<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) で評価する。 評価値 (%) = (評価数 / () 対象評価項目数) × 100 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、C 評価とする。</p>					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	水路等コンクリート二次製品設置工事 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面通り実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、裾付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <p style="margin-top: 20px;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 80% 以上 a ばらつきが少なく、該当項目が 60% 以上 80% 未満 b ばらつきが少なく、該当項目が 60% 未満 c</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> / <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> = <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> % </p>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検 査 員)

審査項目	種別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ ・ 品質	林道工事 (砂利道) <input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別図参照。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別図参照。	品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a 及び b に該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 監督員が文書で改善指示を行った 上記該当あれば・・・ d	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る 契約約款第 17 条 2 項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		[評価対象項目] 法面に有害なクラックや損傷部がない。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し強度・スランプ・空気量等が適切を適切に行っている。 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 施工基面が平滑に仕上げられている。 フトン籠、カゴ枠等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で詰石等、裏込材の流亡のおそれがない。 裏込材、胴込めコンクリートの充てん又は締固めが充分で空隙が生じていない。 構造物周辺の締め固め等の処理が適切に行われている。 試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 5 項目以上・・・ a ばらつきが少なく、該当項目が 4 項目・・・ b ばらつきが少なく、該当項目が 3 項目以下・・・ c			当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は、c 評価とする。	
		森林整備の保育工事（本数調整伐、枝落し、下刈り）の「品質」については、「出来ばえ」検査のランクで同一評価とする				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	魚礁設置工事 <input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別図参照。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]ばらつきの判断は別図参照。	品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る
		<p>[評価対象項目]</p> <p>設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スラップ・空気量等が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件及び気象条件に適した運搬、打設、締め固め、養生を行っている。 コンクリート単体魚礁の型枠の取り外しに関して適切に管理されている。 コンクリート単体魚礁の転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 コンクリート単体魚礁の仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 スパ-の材質が適正で、品質が確認できる。 スパ-を適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 捨石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 鋼製魚礁の溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 組立魚礁の組立が手順書等に沿って適切に実施されている。 組立魚礁のボルトの締付確認が適切に実施されている。 沈設に先立ち、気象・海象等を十分調査し、沈設作業が適切に管理されており、設計図書等に定められたとおり施工されている。 運搬沈設において魚礁の破損がなく施工されている。</p> <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する</p> <p>ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・・・・・ a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・・・・ b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・・・・・・・・ c</p> <p style="text-align: center;"><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。別紙 - 4を参照 上記該当あれば・・・ c</p>			<p>監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p>契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>
					<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする。</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	上記以外の工事又は 合併工事 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"><input type="checkbox"/></div>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は別紙参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、及び b に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由：				
<p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ばらつきが少なく、該当項目が 4 項目以上 …… a ばらつきが少なく、該当項目が 3 項目 …… b ばらつきが少なく、該当項目が 2 項目以下 …… c 該当工種の考査事項で考査し、最大考査項目は 5 項目とする。</p>						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事 <input type="checkbox"/>	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
		コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い		該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事 (盛土・築堤工事等) <input type="checkbox"/>	仕上げが良い。 通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	切土工事 <input type="checkbox"/>	規定された勾配が確保されている。 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 施工面の木根等が確実に施工されている。 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 残土等は適切に処理されている。		該当6項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	護岸・根固・水制工事 <input type="checkbox"/>	通りがよい。 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 天端、端部の仕上げがよい。 既設構造物とのすりつけがよい。		該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	鋼橋工事 <input type="checkbox"/>	表面に補修箇所がない。 部材表面に傷、錆がない。 溶接に均一性がある。 塗装に均一性がある。 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	地すべり防止工事 <input type="checkbox"/>	地山との取り合いが良い。 天端、端部の仕上げが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	舗装工事 <input type="checkbox"/>	舗装の平坦性が良い。 構造物の通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 雨水処理が良い。 全体的な美観が良い。		該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
法面工事 <input type="checkbox"/>	通りが良い。 植生、吹付等の状態が均一である。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	基礎工工事 (地盤改良等を含む) <input type="checkbox"/>	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
		土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 端部、天端仕上げが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		該当 3 項目以上 . . . a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目なし d	
	コンクリート橋工事 <input type="checkbox"/>	コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 . . . a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 . . . d	
	塗装工事 (工場塗装を除く) <input type="checkbox"/>	塗装の均一性が良い。 細部まできめ細かな施工がされている。 補修箇所がない。 ケレンの施工状況が良好である。 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 . . . a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 . . . d	
	植栽工事 <input type="checkbox"/>	樹木の活着状況が良い。 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 植栽帯の全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 . . . a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目なし d	
	防護柵 (網) 工事 <input type="checkbox"/>	通りが良い。 端部処理が良い。 部材表面に傷、錆がない。 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 . . . a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 . . . d	
	標識工事 <input type="checkbox"/>	設置位置に配慮がある。 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 標識板、支柱に変色がない。 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 全体的な取り扱いがしやすい。		該当 4 項目以上 . . . a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 . . . d	
区画線工事 <input type="checkbox"/>	塗料の塗布が均一である。 視認性が良い。 接着状態が良い。 施工前の清掃が入念に実施されている。 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 . . . a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	機械設備工事 <input type="checkbox"/>	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事 <input type="checkbox"/>	構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。 構造物とのすりつけが良い。 製作上の補修痕跡がない。 全体的な取扱いがしやすい。		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	維持修繕工事 <input type="checkbox"/>	小構造物等にも細心の注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上・・・ a 該当 2 項目・・・ b 該当 1 項目・・・ c 該当項目なし・・・ d	
	通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事 <input type="checkbox"/>	主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。 構造物とのすりつけが良い。 製作上の補修痕跡がない。 全体的な取扱いがしやすい。		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	建築工事（新築） <input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い 関連工事との調整がなされ全体に調和が良い仕上である 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である 仕上がりの状態が良好で色調が均一で色むら等が無い 外構を含め全体的な美観が良好である		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	建築工事（改修） <input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い 既存部分や関連設備との調整がなされ全体に調和が良い仕上である 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である 仕上がりの状態が良好である		該当 3 項目以上・・・ a 該当 2 項目・・・ b 該当 1 項目・・・ c 該当項目なし・・・ d	
	電気設備工事（建築） <input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされている 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりである 使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である 建築電気設備として高い品質・性能が確保されている 運転及び保守点検に対する配慮が適切である		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	暖冷房衛生設備工事 <input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされている 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりである 使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である 暖冷房衛生設備として高い品質・性能が確保されている 運転及び保守点検に対する配慮が適切である		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

工種名

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む) <input type="checkbox"/>	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
		構造物等の通りが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 きめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 . . . a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 d	
	港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む) <input type="checkbox"/>	規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。		該当 3 項目以上 . . . a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目なし d	
	ほ場整備工事 <input type="checkbox"/>	整地仕上げが良い。 管渠に十分配慮された施工がなされている。 水路や道路の通りが良い。 法面仕上げが良い。 雨水処理が良い。 吸水渠、集水渠、水閘、排水口の配置が良い。 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 . . . a 該当 4 項目以上 . . . b 該当 3 項目以上 . . . c 該当 2 項目以下 . . . d	
	管水路工事 (パイプライン) <input type="checkbox"/>	管の通りがよい。 付帯コンクリート構造物の肌が良い。 付帯コンクリート構造物の通りが良い。 付帯コンクリート構造物にクラックがない。 舗装復旧面と既設舗装面との取り合わせが良い。 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 . . . a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d	
	水路等コンクリート二次 製品設置工事 <input type="checkbox"/>	土工の仕上げが良い。 土工の構造物等へのすりつけが良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 製品のかみ合わせが良い。 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 . . . a 該当 4 項目以上 . . . b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 . . . d	
林道工事 (砂利道) <input type="checkbox"/>	切取・盛土法面の仕上げが良く、規定された法勾配が確保されている。 コンクリート構造物等の肌が良い。 コンクリート構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等が良く、地山とのすり付けが良い。 植生、吹付け等の状態が均一である。 路面仕上げ、敷砂利が良好に施工されており路面状況が良い。 排水施設の施工が良好である。 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 . . . a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

工種名

(検 査 員)

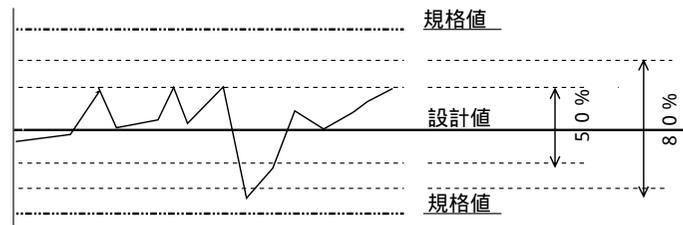
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	保育工事 (本数調整伐)	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	<input type="checkbox"/>	標準地設定が的確である。 全体が均質に施工されている。 伐採木の伐採高さが適切である。 伐採木の林内整理が適切である。 残存木を損傷していない。 有用な広葉樹種が残されている。 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上・・・ a 該当 4 項目・・・ b 該当 3 項目・・・ c 該当 2 項目以下・・・ d	
	保育工事 (枝落し)	標準地の設定が的確である。 全体が均質に施工されている。 枝落しによる幹・枝座への損傷がない。 残枝長が適切である。 枯れ枝は全て切り落とされている。 枝等の林内整理が適切である。 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上・・・ a 該当 4 項目・・・ b 該当 3 項目・・・ c 該当 2 項目以下・・・ d	
	保育工事 (下刈り)	全体が均質に施工されている。 刈り払い高さが低い。 刈り払い物の処置が良好である。 植栽木に損傷がない。 全体的な美観が良い		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
	魚礁設置工事	構造物の表面及び端部の仕上げが良い 構造物の通りが良い。 沈設位置の精度が良い。 きめ細かな施工がなされている。 全体的な美観が良い		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
上記以外の工事 又は 合併工事	<input type="checkbox"/>	理由： 理由： 理由： 理由： 理由：		該当 4 項目以上・・・ a 該当 3 項目・・・ b 該当 2 項目・・・ c 該当 1 項目以下・・・ d	
		該当工種からの審査事項で審査し、最大審査項目は5項目とする。			

【記入方法及び留意事項】

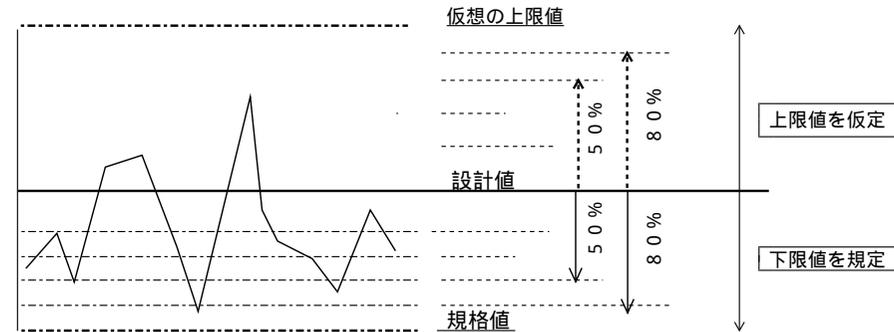
1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

〔管理図の場合〕

（上・下限値がある場合）



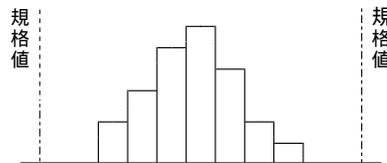
〔下限値のみの場合〕



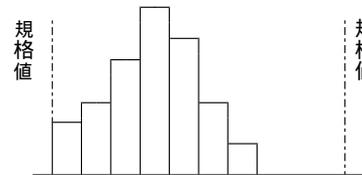
上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕

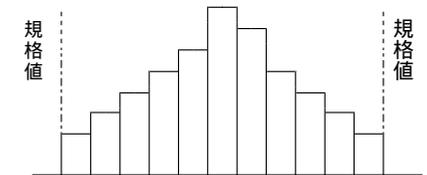
ばらつきが少ない



ばらついている



ばらつきが大きい



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評価する。なお、多工種で評価対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で作られる構造物も対象とする。
- (3) 評価は「合併工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。

4. その他

- ・「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評価を行う。

別添

工事成績評定通知実施要領

(目的)

第1 本要領は、工事成績について、「工事成績評定要領」(以下「評定要領」という。)第8又は第9の通知、第10及び第11の回答並びに第12の公表に関する事項を定める。

(対象工事)

第2 工事成績評定の通知の対象は、評定要領第2に規定された全工事とする。

(評定点の通知)

第3 部長又は地方局長は、評定者から評定表等の提出がなされた後、当該工事の請負者に評定点を速やかに別記様式第1により通知するとともに、閲覧による方法により速やかに公表するものとする。

2 また、評定要領第9に基づき評定を修正した場合についても同様とする。

(説明請求)

第4 第3の通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により、部長又は地方局長に評定点について説明を求めることができるものとする。

(説明請求に対する回答)

第5 部長又は地方局長は、評定点の通知を受けた請負者から評定点についての説明を求められた場合、速やかに別記様式第2により回答するものとする。

2 部長又は地方局長は、説明の申立者に回答を行ったときは、申立者の提出した書面及び回答を行った書面を、閲覧による方法により速やかに公表するものとする。

(再説明請求)

第6 第5の通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により、部長又は地方局長に対して、再説明を求めることができるものとする。

(再説明請求に対する回答)

第7 部長又は地方局長は、第6の説明に係る回答を受けた請負者から再説明を求められた場合、別記様式第3により回答するものとする。

2 部長又は地方局長は、前項の回答をする場合、工事成績評定審査委員会の審議を経てから回答するものとする。

3 部長又は地方局長は、再説明の申立者に回答を行ったときは、再説明の申立者の提出した書面及び回答を行った書面を速やかに公表するものとする。

(評定結果等の公表)

- 第 8 第 3 の評定点並びに第 5 第 2 項及び第 7 第 4 項の申立者の提出した書面及び回答を行った書面 (以下「評定結果等」という。) は、速やかに公表するものとする。
- 2 公表は閲覧方式とし、本庁設計工事については愛媛県庁、地方局設計工事については当該地方局にて閲覧に供することとする。
 - 3 閲覧期間は完成検査日の属する年度及びその翌年度、閲覧時間は県の執務時間とする。
 - 4 評定結果等を閲覧しようとする者は、閲覧所に備え付けてある閲覧簿に必要事項を記入することとする。

附 則

この要領は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

平成 第 年 月 号
日

(請負者) 殿

地方局長

工 事 成 績 評 定 通 知 書

貴社が受注した工事について、工事成績評定要領に基づき評定した結果を下記のとおり通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の趣旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により説明を求めることができます。

疑問の趣旨に対する説明は、書面により郵送いたします。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

工 事 番 号		評 定 点	
工 事 名		路 線 河 川 名 等	
工 事 箇 所			
請 負 代 金 額			
工 期	平成 年 月 日	~ 平成 年 月 日	
完成検査年月日	平成 年 月 日		

項目別評定点は、別表1のとおり

評定点の範囲別評価内容(参考)

ランク	評定点の範囲	評価内容
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事
B	75~80点未満	品質等に良好な工夫、取り組みが見られる工事
C	70~75点未満	品質等に通常の工夫、取り組みが見られる工事
D	65~70点未満	最低限の品質等が確保されている工事
E	60~65点未満	指名等に影 響を及ぼす 恐れのある 工事 今後、改善すべき事項がある工事 今後、特に重大な改善すべき事項 がある工事
F	60点未満	

(送付先及び手続き等の問い合わせ先)

Ⓣ - 県 市 丁目 番地
愛媛県 地方局建設部 課 係
TEL - (代) 内線

(施行注意)

本庁設計に係る工事の場合は、発信者を地方局長から部長に修正して使用のこと

別表 1

項 目 別 評 定 点

評価項目	細 別	評定点 / 満点
1 . 施工体制	. 施工体制一般	/ 3.2点
	. 配置技術者	/ 3.8点
2 . 施工状況	. 施工管理	/ 11.7点
	. 工程管理	/ 9.3点
	. 安全対策	/ 10.7点
	. 対外関係	/ 3.4点
3 . 出来形及び出来ばえ	. 出来形	/ 13.9点
	. 品 質	/ 15.9点
	. 出来ばえ	/ 8.5点
4 . 高度技術（加点のみ）	高度技術	/ 7.8点
5 . 創意工夫（加点のみ）	創意工夫	/ 5.4点
6 . 社会性等（加点のみ）	地域への貢献等	/ 6.4点
7 . 法令遵守等（減点のみ）		
評定点合計		/ 100.0点

別記様式第2

平成 第 年 月 号
日

(請負者) 殿

地方局長

工事成績評定に係る説明書(回答)

平成 年 月 日付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

本説明書に疑問があるときは、その疑問の旨を付して、この書面の回答を受けた日から起算して14日(「休日」を含む。)以内に書面により、再説明を求めることができます。

なお、再説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1 工 事 番 号

2 工 事 名

3 疑問に対する回答

4 送付先及び手続き等の問い合わせ先

Ⓣ - 県 市 丁目 番地
愛媛県 地方局建設部 課 係
TEL - - (代) 内線

(施行注意)

本庁設計に係る工事の場合は、発信者を地方局長から部長に修正して使用のこと

別記様式第3

平成 第 年 月 号
日

(請負者) 殿

地方局長

工事成績評定に係る再説明書(回答)

平成 年 月 日付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

記

- 1 工 事 番 号
- 2 工 事 名
- 3 疑問に対する回答

(施行注意)

本庁設計に係る工事の場合は、発信者を地方局長から部長に修正して使用のこと